

アマゾン環境調査研究所 (IPAM) /コンサベーション・インターナショナル/  
Environment Defense Fund  
Natural Resources Defense council /レインフォレスト・アライアンス  
ザ・ネイチャー・コンサーバンシー (TNC)/Union of Concerned Scientists/  
ワイルドライフ・コンサベーション・ソサエティ/ウッズ・ホール・リサーチ・センター

## REDD+の資金調達オプション

2010年4月

REDD+<sup>1</sup>が気候変動の緩和の機能を十分に発揮し、このメカニズムを持続可能に発展させるためには、市場、非市場双方の資金を含め、さまざまな財源を組み合わせることが必要となります。2020年までに森林減少を半減させることを目標に、十分な財源や知見の供給を可能にするべきです。

多くの途上国の森林が、劣化と破壊の脅威、またはさらなる脅威の増加に直面しています。地球上の生命にとって欠かせない生態系を保護しながら維持していくためには、適切で着実な資金援助がない限り、多くの途上国は森林が現在生みだしている収入のみを頼ることになります。それは多くの場合、伐採と開拓による収入となります。森林の減少と劣化により年間、およそ1,300万ヘクタールの熱帯林が破壊され、全世界の温室効果ガスの約15%を大気中に放出しています。熱帯林の破壊は、世界中の先住民族の生計や森林に依存するコミュニティへの脅威となり、生物多様性や生態系が供給するサービスが損なわれる原因となっています。

現存の森林に経済的価値を付与すれば、熱帯林を効果的に保護し、森林減少・劣化による温室効果ガスの排出を削減するための経済的インセンティブを長期的に提供するだけでなく、先住民族や森に暮らす地域社会の生計を改善し、持続可能な開発に寄与することができると考えられます。REDD+が気候変動の緩和の機能を十分に発揮し、持続可能な開発達成への貢献を生み出すためには、市場、非市場双方の資金を含め、さまざまな財源を組み合わせることが必要です。各国への能力支援とプログラム実施の初期投資には非市場の財源が必要であり、長期的に課題に実質的に取り組んでいくために必要な財源の規模を達成するためには、市場に基づく財源が必要です。REDD+の初期段階における資金調達 REDD+を立ち上げる初期段階では、準備段階支援に向けた公的資金が必要となります。信頼性のある参照レベルの設定や、確実性の高いモニタリング・システムの整備、国内制度の強化、森林ガバナンスの改善、地元レベルで実際にREDD+の活動に従事する人々に資金を供給するための仕組みの整備など、用途を指定した資金を調達し、様々な準

---

<sup>1</sup>我々は、森林減少と森林劣化による排出量の削減 (REDD) に加え、厳格な環境、社会的基準と確固たる炭素測定に基づく原生林の持続可能な管理、原生林の保護と森林被覆が高く劣化率が低い地域を含む炭素吸収の維持、劣化している森林の回復・改善を通じた炭素吸収の促進、環境的に適切な植林と再植林を通して森林被覆を増やすことを含めたメカニズムを支持します。

備を推進していくことが火急の課題です。この資金は、新規及び追加的な ODA、税金、それにキャップ・アンド・トレード方式におけるアローワンスの売却による収益からの指定拠出など、さまざまな方法で捻出することが可能です。各国による準備が進み、排出削減活動が開始された際は、次に、追加的な公的資金からの先行投資の獲得により、初期の活動に伴う様々なリスクの軽減に努め、ハイリスクを負うことになる国への市場アクセスを支援し、民間投資を促進することが重要です。

### REDD+の長期的な資金調達

各国に規制（コンプライアンス）レベルに見合う排出削減を実施する能力が備わった後<sup>2</sup>は、一定の期間において、世界的規模において森林減少・劣化を抑制するために必要な巨額の資金を調達するためには、REDD+の市場へのアクセスが最も有効な資金源となります。REDD+メカニズムの初期段階から、各国に対しては、追加的、永続的、実証可能で規制レベルに対応が可能な排出削減を実施する能力が備わった時点で、市場へのアクセスが可能になるということを明示すべきです。市場の信頼性を確保することは、各国が堅実な測定・報告・検証可能なシステムを開発するために、大規模な初期投資を実施するためのモチベーションを与えるために重要です。また、厳格で検証可能な方法を通じて発生した REDD+のクレジットは、他のセクターにおける削減クレジットと完全に代替取引可能となるべきです。野心的な削減目標を掲げるグローバル・レベルの枠組みにおいて、REDD+は、先進国がより早い段階で一步踏み込んだ排出削減目標を設定するのに役立ちます。REDD+の枠組みは、気温上昇を 2°C 以下に抑えることを照準にその目的の達成に向けて機能するように設計される必要があります。<sup>3</sup>

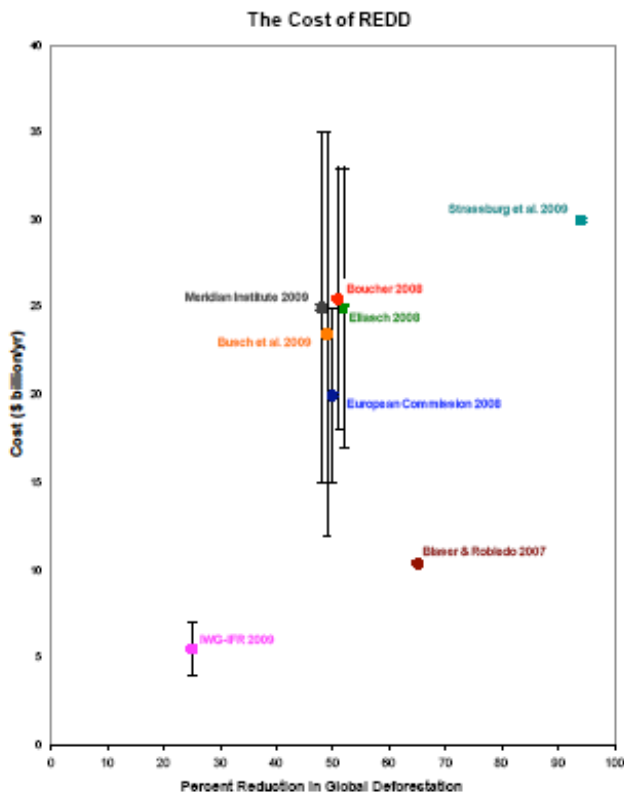


図1：森林減少と劣化に由来する排出の削減に関する費用概算の幅 注：ほとんどの試算は 2020 年までの削減に関してだが、Eliasch レビューは 2030 年まで、IWG-IFR 報告は 2010-2015 年、BUSCH et al 分析は 2000-2005 年のヒストリカル・シミュレーションを示している。Meridian Institute の調査報告は 2020-2030 年までの削減について様々な研究結果を出している。この図の参考文献は最終ページのリストをご参照ください。これらの試算は機会費用であり、プログラム費用や政府がプログラムを施行する際の費用を含んでいません。また、これらの研究のほとんどすべてには、生態系サービスの維持によってもたらされる経済的な便益は含まれていません。

<sup>2</sup> 取り組みが評価されるためには、モニタリングの強化、報告、検証の準備とともに、追加性、パフォーマンスが確実に評価されるよう設計される必要があるだろう。

<sup>3</sup> Meinshausen, M., N. Meinshausen, W. Hare, S. C. B. Raper, K. Frieler, R. Knutti, D. J. Frame and M. R. Allen (2009). Greenhouse-gas emission targets for limiting global warming to 2°C. *Nature* 458:1158-1163. (<http://www.nature.com/nature/journal/v458/n7242/full/nature08017.html>).

森林減少を半分に抑えるための試算コストは年間 120 億ドル～350 億米ドルです。（図 1 参照）このうちのかなりの部分は市場以外の財源から支給される必要があります。この財源は、前述の REDD+ の準備活動に加え、早期活動を実施するための初期投資額として利用されるべきであり、民間投資を増大させるために必要です。2020 年までに森林減少を半減させるためには、その目標に見合った十分な財源と資金が着実に適用されるべきであり、前述の上限額まで資金を調達することが必要です。

### UNFCCC における最新の REDD+ の資金調達メカニズム

コペンハーゲンで開催された第 8 回 AWG-LCA 会合にて作成された、現時点での REDD+ の交渉文書には、排出削減の数値と資金調達目標額に関わる記述を挿入する箇所が含まれています（FCCC/AWG/LCA/2009/17、Annex I.G）。文書は段階的なアプローチと、成果に基づく REDD+ のデモンストレーションとなる活動や行動を提示しています。また、文書は資金調達の見込みに関する以下の 3 つの潜在的なオプションを含んでいます。1) 気候変動条約に資金調達に関わる決定を下すこととなる REDD+ の資金的枠組み 2) 実績に基づいた行動に関連する資金で、多様な資金源から調達される財源、加えて/あるいは 3) 2 国間、多国間供与に基づく資金源

資金に関わる現在の交渉文書（Annex I.C）には、公的、民間の財源の双方を選択肢に含んでいます。同様に、現在の市場に基づくアプローチ（1b-Annex I.I）に関わる交渉文書には、市場、非市場両方の選択肢が含まれています。加えて、コペンハーゲン合意の元では、各国が「市場を利用する機会を含め、様々なアプローチを採用することを決断し、費用対効果を高め、緩和行動を促進する」と記述されています。コペンハーゲン合意の下において、先進国は今後 3 年間で、REDD+ を含む途上国の削減活動と適応への支援に 300 億米ドルの拠出を表明しました。

### UNFCCC において必要な REDD+ の資金に関わる政策

REDD+ の目的には、排出削減に関わる野心的な数値目標と資金の目標額を含めるべきです。そのためには、締約国は多様な REDD+ の資金源を認めるべきです。コペンハーゲン合意において約束された資金は、REDD+ の準備段階やデモンストレーションとなる活動の需要に応えるために、即座に利用されるべきです。さらに、先進国による REDD+ への 35 億ドルの拠出の公約を実現し、布石を作り上げるべきです。UNFCCC の下における REDD+ の資金調達が、十分な先行投資により REDD+ を実際に立ち上げるとともに、長期的な実施に向けて、市場と非市場の財源を組み合わせることで資金を供給することが重要です。また、REDD+ メカニズムの初期段階から、各国に追加的、永続的、実証可能で規制レベルに対応可能な排出削減を実施する能力が備わった時点で、市場へのアクセスが可能であることを明示することが重要です。このような REDD+ の柔軟な資金調達の可能性が、UNFCCC における一連の作業において組み込まれるべきだと考えます。

- Blaser, J. & Robledo, C. 2007. Initial Analysis on the Mitigation Potential in the Forestry Sector.  
Prepared for the UNFCCC Secretariat. August.
- Boucher, D. H. 2008. Out of the Woods: A realistic role for tropical forests in addressing global warming.  
Union of Concerned Scientists, Cambridge, MA, USA. Available online at: [www.ucsusa.org/REDD](http://www.ucsusa.org/REDD)
- Busch, J., Strassburg, B., Cattaneo, A., Lubowski, R., Bruner, A., Rice, R., Creed, A., Ashton, R., Boltz, F. 2009.  
Comparing climate and cost impacts of reference levels for reducing emissions from  
demonstration. Environmental Research Letters 4:044006.
- Commission of the European Communities. 2008. Addressing the challenges of deforestation and forest  
degradation to tackle climate change and biodiversity loss : Impact assessment. Commission  
staff working document accompanying the Communication for the Commission to the European  
Parliament, the Economic and Social Committee, and the Committee of the  
Regions, SEC(2008)2619/2. Brussels. October.
- Eliasch, J. 2008. Climate change : Financing global forests (the Eliasch Review). London : Office of Climate  
Change, Government of the United Kingdom.
- Informal Working group on Interim Finance for REDD+ (IEG-IFR) . 2009. Report of the Informal Working  
Group on Interim Finance for REDD+ (IWG-IFR): Discussion Document. October 27.
- Meridian Institute (Zarin, D., A. Angelsen, S. Brown, C. Loisel, L. Peskett, and C. Sreck) 2009.  
Reducing Emissions from Deforestation and Forest Degradation (REDD): and options assessment  
report. Meridian Institute and Government of Norway, Washington, DC, USA. Available online  
at : [www.REDD-OAR.org](http://www.REDD-OAR.org)
- Strassburg, B., P. K. Tuner, B. Fisher, R. Schaeffer, and A. Lovett. 2009. Reducing emissions from deforestation--  
The "combined incentives" mechanism and empirical simulations. Global Environmental  
Change 19:265-278